

# モニタリング報告書

別紙3-1

## ◆事業者（申請者）の概要

申請者	株式会社やまぐち製作所			支店名				
連絡先	083-921-0000			所在地	山口市熊野町1-10 NPYビル			
業種	製造業			設立年月日	H1.2.1	年商	100,000千円	
事業内容	金属製品加工			代表者	山口 一郎	年齢	50歳	
資本金	15,000,000円			従業員数	10名 (うちパート2名)			
沿革	S51.04 創業						金融機関	A銀行
	H01.04 法人成り（資本金10百万円）							B銀行
	H10.05 山口一郎が代表取締役に就任							C信用金庫
	H18.05 資本金を15百万円に増資							
株主構成	氏名	株数	関係	役員構成	氏名	役職		
	山口 一郎	800	本人		山口 一郎	代表取締役		
	山口 太郎	500	父		山口 花子	取締役		
	山口 二郎	200	兄弟					
	(計)	1,500						

## ◆経営改善計画の骨子

- 一つ一つの仕事に関し、採算性を重視し提案型営業を推進する。
- 固定費の削減を図る。
- 成果主義を導入することにより、従業員のやる気を促し組織の活性化を図る。
- 部門別に損益を把握できる体制にする。

◆経営改善計画での具体的施策（アクションプラン）

（単位：千円、％）

事業者の課題と目標数値（上段）		計画0年目	計画1年目	計画2年目	計画3年目	計画4年目	計画5年目
経営改善計画の具体的施策の内容（下段）		a年03月期	a+1年03月期	a+2年03月期	a+3年03月期	a+4年03月期	a+5年03月期
1	提案型営業へのシフト（売上高）	100,000	105,000	110,000	115,000		
	提案型営業ができる体制（商品力・営業力強化）を目指す。						
2	固定費の削減（支払保険料）	840	840	840	840		
	経営者保険の減額（@100千円→@30千円）						
3	成果主義の導入（人件費総額）	41,250	42,500	43,250	43,250		
	定期的なミーティングの実施と労働分配率に連動する歩合給の導入。						
4	部門別会計制度の導入	〔自計化構築〕	→	〔部門別導入〕	→		
	自計化体制構築後、部門別会計を導入する。						
5							
6							

◆モニタリング実施時の具体的施策の実施状況

(単位：千円、%)

決算財務数値 (計画値)	a年03月期	a+1年03月期	a+2年03月期	a+3年03月期	a+4年03月期	a+5年03月期
売上高	100,000	105,000	110,000	115,000		
営業利益	3,500	4,500	5,000	5,500		
経常利益	1,200	1,800	2,200	3,200		
当期利益	720	1,080	1,320	1,920		
減価償却費	3,200	3,000	2,800	2,400		
簡易CF (経常利益+減価償却費-法人税等) <A>	3,920	4,080	4,120	4,320		
現預金残高	5,100	5,200	5,000	5,600		
金融機関債務残高	30,000	27,300	24,000	21,000		
資本性借入金	—	—	—	—		
運転資金相当額	3,400	3,600	3,400	3,500		
差引要償還債務残高 <B>	21,500	18,500	15,600	11,900		
CF倍率 <B÷A>	5.5	4.5	3.8	2.8		
純資産額 (帳簿)	7,083	8,163	9,483	11,403		
純資産額 (実態：金融支援後)	5,800	6,880	8,200	10,120		
決算財務数値 (実績、見込み)	a年03月期	a+1年03月期	a+2年03月期	a+3年03月期	a+4年03月期	a+5年03月期
売上高	100,000	105,500				
営業利益	3,500	4,500				
経常利益	1,200	1,820				
当期利益	720	1,092				
減価償却費	3,200	3,000				
簡易CF (経常利益+減価償却費-法人税等) <A>	3,920	4,092				
現預金残高	5,100	5,200				
金融機関債務残高	30,000	27,300				
資本性借入金	—	—				
運転資金相当額	3,400	3,600				
差引要償還債務残高 <B>	21,500	18,500				
CF倍率 <B÷A>	5.5	4.5				
純資産額 (帳簿)	7,083	8,115				
純資産額 (実態：金融支援後)	5,800	6,832				

計画値と実績値の対比

計画・実績対比	計画と実績の乖離値					
		a+1年03月期	a+2年03月期	a+3年03月期	a+4年03月期	a+5年03月期
売上高 (達成率)		500 100.5%				
営業利益						
経常利益 (達成率)		20 1.0				
当期利益 (達成率)		12 1.0				
減価償却費						
簡易CF (経常利益+減価償却費-法人税等)		12				
現預金残高						
金融機関債務残高						
資本性借入金						
運転資金相当額						
差引要償還債務残高						
CF倍率		▲ 0.0				
純資産額 (帳簿)		▲ 48				
純資産額 (実態：金融支援後)		▲ 48				

【事務局等記載欄】 必要に応じて意見等を記載する。

部署	担当者	記載欄
山口県経営改善支援センター	専門相談員	
	センター長	
	統括責任者	
全国本部	P M	

## ◆モニタリング実施時の具体的施策の進捗状況

モニタリング1回目・2回目

第1回モニタリング		予定日： a年6月上旬	開催日： a年6月15日
事業者（申請者） 記載欄	具体的施策の進捗状況	顧客調査を行い、そのデータ分析中。	
	月次の決算状況と年度決算の着地見込	概ね計画値通りで推移。	
	資金繰りの状況	ほぼ計画通りだが、全般的にタイトな状況が続く。	
認定支援機関 記載欄	経営改善の状況	顧客のニーズを把握する作業を進める。	
	経営改善に向けた指導内容	計画値の売上高を必ず達成すること。	
	今後の課題と考慮事項	利益率の向上。	
	その他		

第2回モニタリング		予定日： a年9月上旬	開催日： a年9月13日
事業者（申請者） 記載欄	具体的施策の進捗状況	保険の減額を実施	
	月次の決算状況と年度決算の着地見込	半期を経過し、計画通りの売上高で推移している。	
	資金繰りの状況	保険料の負担軽減分多少緩和している。	
認定支援機関 記載欄	経営改善の状況	固定費の改善実施。	
	経営改善に向けた指導内容	提案型営業の取組みを図る。	
	今後の課題と考慮事項	歩合給に基づく、給与規程の改定と社内での周知。	
	その他		